

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	陽光ホーム	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人育桜福祉会 ・代表者名 星 栄 ・住所 川崎市中原区西加瀬10番3号	評価者	障害計画課長
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	共同生活援助（定員 16名）在籍者 15名（平成31年3月31日現在） 地域生活体験事業（定員 1日2名）延利用日数 254日																																				
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>経常活動</td> <td>78,073千円</td> <td>経常活動</td> <td>71,726千円</td> <td rowspan="8">6,347千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>40,058千円</td> <td>人件費</td> <td>53,499千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助</td> <td>15,810千円</td> <td>事務費</td> <td>2,813千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>11,737千円</td> <td>事業費</td> <td>10,413千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入</td> <td>0千円</td> <td>拠点区分間繰入</td> <td>5,000千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10,467千円</td> <td>施設整備等</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78,073千円</td> <td>合計</td> <td>71,726千円</td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>	収入		支出		収支差額	経常活動	78,073千円	経常活動	71,726千円	6,347千円	給付費	40,058千円	人件費	53,499千円	川崎市単独扶助	15,810千円	事務費	2,813千円	指定管理委託料	11,737千円	事業費	10,413千円	拠点区分間繰入	0千円	拠点区分間繰入	5,000千円	その他	10,467千円	施設整備等	0千円	合計	78,073千円	合計	71,726千円		
収入		支出		収支差額																																	
経常活動	78,073千円	経常活動	71,726千円		6,347千円																																
給付費	40,058千円	人件費	53,499千円																																		
川崎市単独扶助	15,810千円	事務費	2,813千円																																		
指定管理委託料	11,737千円	事業費	10,413千円																																		
拠点区分間繰入	0千円	拠点区分間繰入	5,000千円																																		
その他	10,467千円	施設整備等	0千円																																		
合計	78,073千円	合計	71,726千円																																		
サービス向上の取組	<p>・利用者とのコミュニケーションを大事にして思いを受け止めながら、通過型のグループホームとして、障害特性に応じた支援を行いつつ、さらなる地域移行ができるよう支援を行っている。</p> <p>また、健康管理について、支援員が通院に同行して、支援員からも日頃の状況を医師に伝えるとともに、医師の指示内容を通所先とも共有しながら、適切な支援が行えるよう、サービス向上に取り組んでいる。</p>																																				

3. 評価（評価段階：5～1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金銭管理支援として、生活費について欲しいものや必要なものを利用者と一緒に考えるなど、買い物を通じた支援を行っている。また、毎月の工賃の使い方について、使い方に戸惑う利用者もいることから、昨年度より工賃の使用方法について利用者と毎月話し合っているなど、利用者の障害特性等に応じて個別に支援を行っている。</li> <li>・入所から実家で外泊ができなかった利用者とそのご家族について、状況に応じて電話やメール等で連絡を取り、面談等を実施することで、初めて1泊できるようになるなど、利用者と家族の関係構築に向けて丁寧に支援している。</li> <li>・通過型のグループホームとして地域移行に取り組んでいるが、利用者からの相談があった際には、その不安を解消できるように、他ホームの見学調整を行う等、適切な支援を行いながら施設としての役割を果たしている。</li> </ul>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支出については、事業計画通り、予算の範囲内で執行されており、適正に支出されている。</li> <li>・収入については、債権管理を的確に行い、安定した給付費収入により、収支もプラスであった。</li> <li>・法人として、平成29年度から自主的に会計監査人監査を実施し、年間を通じた内部統制の評価や拠点の往査も行って、適正に会計処理されている。</li> </ul>					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切なサービスの提供のため、利用者とのコミュニケーションを重ねながら意思の確認を行い、自ら要望を伝えることでかえって混乱を招く場合は「相談ノート」を書いてもらう等の工夫を行っている。また、言葉の少ない利用者にはカード等の利用により意思確認を行っている。</li> <li>・サービス向上の取組みとして、利用者が主体的に自分の想いを実現できる体制づくりとして、利用者との面談について、サビ管だけではなく、支援員や世話人も積極的に行うことで、利用者とのコミュニケーションを深め、支援に反映している。その結果として、利用者満足度調査では、概ね高い評価を得ることができている。</li> </ul>					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	4	4	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上の取り組みとしては、今後の入所者の受け入れの方向性として、コミュニケーションの難しい重度の知的障害のある方等を想定しており、それに基づき、強度行動対策研修を受講するなど、必要な知識の獲得などスキルアップに努めている。</li> <li>・安全・安心の取り組みとして、「危機対応マニュアル」に基づき、事故等の対応や大規模訓練を行っている。また、当該施設が、土砂災害警戒区域内にあるため、土砂災害を想定した避難訓練を行っている。</li> <li>・職員が業務を適正に実施できるよう、すべての職員にメンタルヘルスチェックを行い、また、職員の目標管理制度について取り組みを行う等、労働環境整備に取り組んでいる。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種保守・点検等について、施設職員及び委託業者により適切に実施されている。</li> <li>・安全・安心を確保するため、環境整備と併せて日常的に事業所内外の整理整頓を心掛けるとともに、危険物の保管場所を限定する等の工夫をしている。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→40点以上50点未満,E→50点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・家族関係支援について、入所から実家で外泊ができなかった利用者とそのご家族について、状況に応じて電話やメール等で連絡を取り、面談を行う等することで、初めて1泊できるようになるなど、利用者に対する支援を適切に行っている。  
・地域移行について、通過型のグループホームとして、利用者からの相談に応じて、不安を解消できるよう、他ホームの見学ができるよう調整を行う等、利用者のニーズに応じて、適切な支援を行うとともに、施設としての役割を適切に果たしている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・地域生活体験事業については、男性棟の稼働率が80%であり、体験事業から1名が地域移行していることは評価できるが、今後については、他法人からの利用者の増加にも努めていただきたい。